

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
令和5年度 第1回 認知症対策部会 会議録

開催日時	令和5年7月18日(火) 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	生駒メディカルセンター 研修室
出席者 (委員)	山上部会長、中溝副部会長、森川委員、川田委員、古田委員、新谷委員、小津委員、中村委員、山内委員、笹本委員
事務局	地域包括ケア推進課 後藤課長、秋永主幹、田村係長、杉谷、稲垣
傍聴	2名
案件	(1) 令和5年度スケジュール案について (2) かかりつけ医対応力向上研修の周知及び修了医師との連携 (3) 認知症に関する研修の検討(多職種連携研修) (4) その他(認知症月間に開催予定の認定症カフェについて)
資料	会議次第 (資料1) 認知症対策部会員名簿 (資料2) これまでの取り組みと今後について(グループワークまとめ) (資料3) 認知症対策部会令和5年度スケジュール(案) (資料4) 一般市民向けフォーラムについて(案) (資料5) かかりつけ医認知症対応力向上研修と認知症サポート医について (資料6) 多職種連携研修会(案)について (資料7) 令和5年度「認知症の日」に関連した啓発について(案) (資料8) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会 地域包括ケア推進課長より挨拶 委員の交代報告 事務局紹介 会議の公開、録音了承 傍聴人入室</p> <p>2 案件 案件(1) 令和5年度スケジュール案について (資料1, 2, 3により事務局から説明) 昨年度は1回のみ開催となった。開催した部会において、グループワークを実施し、本年度はそこから、 ・かかりつけ医対応力向上研修の周知および修了医師との連携</p>

委員	<p>・多職種連携研修会の開催 ・一般市民向けフォーラムの開催 等</p> <p>について検討を予定しており、本日を含め、4回部会を開催する予定。 また、一般市民向けフォーラムについては、9月22日（金）の午後2時から、MCIについてフォーラムを開催できるよう検討していく予定。皆様には、このフォーラムへのご参加や啓発へのご協力を是非お願いしたい。</p> <p>特に意見なし</p>
事務局	<p>案件(2) かかりつけ医対応力向上研修の周知及び修了医師との連携</p> <p>対応力向上研修の現状は、国立長寿医療研究センターによる認知症サポート医養成研修及び奈良県が県医師会に委託し、認知症サポート医と連携して、かかりつけ医等に対する認知症対応力向上研修を、それぞれ実施している。対応力向上研修はそれぞれ年1回から2回、認知症サポート医養成研修は年6回開催されている。認知症サポート医は、市内に3名。対応力向上研修は、令和3年度は1人、令和4年度は6人受講されている。</p>
部会長	<p>認知症サポート医については、県から募集が来るのは知っている。 かかりつけ医の認知症対応力向上研修について医師会から周知があるようだが、私は知らなかった。(他の)先生もご存知ないよう。 周知の仕方が十分でないのか、私も注意して、連絡があれば周知するようにしたいと思う。</p>
委員	<p>医師以外にもこういう研修をあるんですね。皆さんご存じか。 (歯科医師会)周知されている。知っている。 (薬剤師会)周知されている。取り組みに関わる場所なので、みんなが受けるわけではないが、大体受けていく形だ。</p>
部会長 委員	<p>結構受講者数は多いか。 はい。 薬剤師会からだけではなく、民間の研修会もあって、1日かかり、費用も高いが受けられるようになってきている。ただ、県との連携という意味では、民間の分は認められていない。互換性がない。</p>
部会長 委員	<p>病院勤務の方、看護師の方っていうのは、どうか。 グループワークの時に、お金が要するという問題があったような気がするが。 認定看護師は有料。病院によっては一部負担してくれるところもあると思う。 期間も半年とかなので、ちょっと大がかり。 対応力向上研修は、年に1回でちゃんと周知されて、毎年10人ぐらいずつは受講している。結構募集数も大きいので、他の病院もたくさん来てるイメージがある。 指導的役割を担っている検査主任とかそういう意味ですか。 私の病院では、ある程度、中堅以上とかです。</p>
部会長	<p>私も、こんなに色々な職種でやっていただいて、割と参加していただいている</p>

事務局	<p>ことは知らなかった。私も医師会から知らせてくれば何とか広めるようにやっていきたいと思う。</p> <p>今お話聞かせていただいて、こんなに受けておられるという事実も、本当に知らなかった。もし受けておられないようだったら、積極的に受けていただけるようにどうしたらいいかっていうご議論をいただきたいなどは思っていた。ただ、市内の全ての人が受けているかといえば、まだ現状そうではないし、日頃の業務もある。市としても、医療介護連携のホームページとか何らかの形で、周知を考えたいと思う。</p>
部会長	<p>これについては、また第2回話し合いがあるかと思うので、各職種プラス行政で周知するような形をとっていただけたいんじゃないかなと思う。</p> <p>他にご質問とかご意見はあるか？</p>
委員	<p>特に意見なし</p>
事務局	<p>案件(3) 認知症に関する研修の検討（多職種連携研修）</p> <p>今回このテーマを決めるにあたっては多職種連携の研修の機会に参加されている専門職の多くの方から、複合的な問題のある世帯の対応であったり、重度認知症であったり、精神疾患を抱えてる方の事例、そういったものについての研修の機会を作っていただきたいという意見もあったので、このようにテーマを決めた。</p> <p>1つ目、精神疾患を抱えている方や重度認知症の方の入退院の問題というのは、地域の医療機関の関係者とか福祉関係者の方々にとっても、支援困難なケースでなかなか対応が難しいと考えられてる方も少なくないと思うが、精神科病院側にとっても、地域の医療機関や福祉関係機関との連携、退院支援調整が難しいという話も実際に聞いているので、精神科病院からの退院支援地域移行支援ということを通じて、地域の医療福祉機関の従事者の方に重度認知症の方であったり精神障害のある方をもう少し身近に考えてもらうような機会が作ればというところ。</p> <p>二つ目は、ご存知のように精神科病院の入院期間は、特に日本では類をみないほど長期入院が目立っている。その中で重度認知症の方の行き先、退院先っていうのも、もちろんこの中に含まれており、なかなか退院先が決まらない方もたくさんいる。地域の医療機関や福祉関係者、そして地域のコミュニティと連携をしていくことが不可欠であり、事例検討などを通して検討、意見交換会の機会を作ればというところ。</p> <p>三つ目は、冒頭でお話させてもらっていた精神疾患がある方が65歳を迎えられると主な制度が介護保険制度に移行していくが、もう少し具体的に言えば相談支援専門員でずっと担当されてた方が、介護保険になると介護支援専門員に変わっていく。本当に制度のわかれ目のだけの問題かと思いきや、本人にとっては担当が代わったり、自費の費用が発生するなど、よく65歳問題というようなこと言われたりしている。介護保険にスムーズに円滑に移行していくためにも、多職種との連携といった視点で、このようなことを検討していければというところ。</p> <p>四つ目は、複合世帯の伴走支援は、制度や支援に繋がっていない、制度の狭間問題の方に伴走していくようなニュアンスで言われてたりしているが、実際、</p>

	<p>なかなか他制度に繋いでいくことが難しい。特に、親が認知症になって、支援に繋がっていない子が介護をしていくのはすごく難しい問題でもあるし、逆に年齢を重ね、自分が認知症になり、未就労や引きこもりの子の負担をなかなか打ち明けることができずに暮らされてる方も少なくないので、成功事例などを通して多職種連携の場で意見交換できればというところ。</p>
部会長	<p>どれも非常に難しい重要な問題だとは思いますが、ベースに精神疾患があるっていうことを、認知症だけじゃなくてつけ加えようということか。</p>
事務局	<p>はい。元々そういう病院にかかれてないけれども、実は高齢になられたときに病院受診に繋がったところ、ひょっとすると若くして精神疾患を患っていたがたまたまそういう診断レポートがなかった方、うつ病などをお持ちで、そこに認知症が併発した精神高齢の方々の事例などをくっつけて考えている。</p>
部会長	<p>確かに私が専門ではないので、なかなか精神疾患なのか認知症なのか判断がつきにくいときも多い。</p>
委員	<p>全部は当然できないので、これがいいのではというご意見をお伺いできれば、進めていきやすいかと思うんですが。</p> <p>私の事業所は精神科の訪問看護を中心とした事業所で、利用者様が65歳になった瞬間に介護認定を受ける。利用してるサービスは、福祉サービスをずっと使って、その人の生活が安定してる。介護認定を受けるにあたって、相談支援が変わったり、すごく利用者さんにとっては生活自体が変わってしまうことがあるのかなというふうに、割とその精神疾患の方って65歳以上でも、体が元気で、年齢だけで介護か福祉か、ちょっと利用者様には、合っていない現状も生まれてきたりする。</p>
部会長	<p>移行するとかってそんなに変わるんですか。</p>
委員	<p>制度的に変わる。</p>
部会長	<p>利用できる内容がそんなに変わってしまうのか。</p>
委員	<p>生駒市で継続してその施設などを使えるっていうことにはなってるが、その時点で一時的に周りがバタバタするとか、相談員が一旦ケアマネに代わってまた元に戻ったりなどが実際にあった。</p>
事務局	<p>精神障害のある認知症の方の理解が深められたらいいなと思う。</p> <p>年齢でそんなに利用できる内容が変わってしまうんですね。</p> <p>お金を出所が変わるだけかと思っていた。</p> <p>他にこんなことを議論してみたっていう案がございますか。</p>
委員	<p>長期入院患者で伴走在宅伴走支援をするっていうようなことは実際進んでいるのか。</p>
事務局	<p>全国的にすごく進んでるかと言われると、実際はなかなか実態が伴っていないと聞いている。15年~20年ぐらいで地域に帰られた方のお話を聞いたところ、改札口(PITAPA)もなかった時代で切符一つも買えなかったり、コンビニでお金を支払うシステムも全く変わってしまい、浦島太郎状態。そのような方に、退院です、頑張ってくださいねっでは、なかなか難しい。事例検討でお話ができればと思っているが、先生に今ご指摘いただいたようになかなか実際に進んでいない現状は、ずっと続いていると思う。</p> <p>研修を通じた多職種連携なので、あまり固く考えずに、精神というと、どうしても、どこかの違う島の分野のように感じてしまうが、実は、ケースから入っていくと、目の前のケースが実は診断されてないけどおそらく何か人格的に何かお持ちのまま過ごされてきたらろう高齢者の方や、表面上に症状として捉えられがちだが、記憶は保たれてるなという方々と接することが結構ある。</p>

委員	包括支援センターはいかがか？ 最近精神系の方も多い。多職種連携もとても大事。地域で暮らしていくというのは、ご家族ですらなかなか難しい。地域の方がどこまで、それを理解できるか。
委員	バタバタして一番かわいそうなのは利用者さんだ。
部会長	では、③の65歳問題で多職種連携研修を検討するという事。内容は先生を呼ぶつもりか。
事務局	PSWで考えている。
部会長	事例はたくさんお持ちだと思う。そういうところを少しお話いただきながら皆さんで事例検討して、学びを作ればと思う。
委員	わかりました。
事務局	わかりました。
部会長	案件(4)その他（認知症月間開催予定も認知症カフェについて） 例年9月はアルツハイマー月間認知症月間として様々な啓発を、市と認知症地域支援推進員、地域包括支援センターが協力して実施している。 本年度についても、市民フォーラムを含め、イオンモール奈良登美ヶ丘で、専門店スタッフ向けのサポーター養成講座の実施や、認知症VR体験会、買い物客向けの啓発を実施したり、駅前図書室での展示等をするために検討を進めているところだが、その中で、9月9日（土）に生駒駅ベルテラスにて、啓発活動を行いたいと考えており、認知症地域支援推進員による相談ブースの設置やお子様向けのロバ隊長のマスコット作成を検討中。そこで、ここからは、グループワークで2つのことを検討したい。
事務局	1つは、この啓発イベントで認知症部会として何かできること、してみたいことはないかをご検討いただき、もし可能であればご参加いただければと考えている。もう1つは、前年度にもグループワークのなかで、「認知症カフェ」という名前はハードルが高いとご意見をいただいたので、是非、この機会に名前アイデアをいただければと思う。 全体で40分程、ご検討いただいた後、グループの代表の方に発表いただければ。
部会長	はいでは、今回もグループワークを取り入れ、個人と話した方が割と意見が出るので、それぞれに認知症カフェのネーミングですね、これも前回ちょっとネーミングが悪いんじゃないかというご意見もありまして、何かいい名前はないかということと、あと9月9日のベルテラスで、何かオープンカフェ形式でやるということですが、部会としても何か協力できることがないかご検討いただきたい。では、グループでお話をよろしくお願いします。
事務局	話も尽きませんが、発表にうつります。 カフェの名前は、「カフェいこいこ」生駒の「いこ」と行こうの「いこ」という案がでた。
部会長	当日は、ブースでは楽しく学んでいただけるものがないかなってということと、オレンジとかロバ隊長の浸透がちょっと薄いかなっていうので、親子で学んでもらえるものがないのではないかと。
委員	見てくれる方を増やしたいので、寸劇や、〇×クイズとか、どういうふうな形

	<p>式でするかはわかりませんが、ゲームで認知症について学んでもらうようなものがよいのではないかと。</p> <p>冊子が出てたと思うんですけど、小さい冊子を使って、もう少し小さい「簡単に学べる認知症」みたいな感じでミニ講話をしたり、静かな中で学んだりするのは難しいかもしれないけれど、遠巻きでも学べたりできたら。「認知症の人の歩き方」という番組があるので、そういうのを流したらどうか。</p> <p>オレンジの風船でロバ隊長を作って配ったらどうかという案が出ていた。以上です。</p> <p>(もう一つの班)</p> <p>部会としてできることは、やっぱり人を呼び込むことについての話が多かったが、ターゲットを若い人とか高齢の方とか、ちょっと絞ったりした方がいいんじゃないか。</p> <p>あとはイベントをしてるのが遠目から見てもはっきりと何のイベントかわかるような方がいいかもしれないけれど、それだと逆に認知症と書かれてたら抵抗があって、あそこ行きにくい人もいるかもしれないとか、色々な意見が出たりもした。</p> <p>あとは風船に去年フェルトで作ったマスコットを持ち手に付けるという意見があったり、あとはティッシュを配っての啓発。呼び込みは、先ほど意見があったようなクイズを作ったらどうかとか、簡単に5問程度のクイズを作ったらどうかというのがあったり、ベルテラスは、買い物や用事があり、通り過ぎたりするから、どれぐらい時間が取られるのか、はっきりわかるようにして、呼び込みしたほうがいいのではないかという意見があった。</p> <p>認知症カフェの名前は「つながるカフェ」とか、「ロバ隊長とつながるサロン」「ロバ隊長のカフェ」「ほっとカフェ」という意見が出た。</p>
部会長	<p>色々ご意見いただいて、ここで決めることではないが、できそうなものを、実行委員で考えていただくということですよ。</p> <p>ネーミングは、ここで決めても・・・</p>
委員	<p>1個1個気に入ってるけど、普通に使えてわかりやすいオレンジカフェでも。ちょっと意見です。オレンジっていう言葉自体には、こういうことに携わっているから、認知症の色という認識がある。でなければ、一体何でオレンジなんだろうと思われる。認知症関連のことを想起するものでなく、かわいいほうがいいのではと思った。</p>
部会長	<p>ここで決めるのは難しいかもしれない。</p> <p>今年度中には絶対決めたいなと思ってるので、ご意見としてということで。ありがとうございます。</p> <p>非常に実りある会にしていきたいと思います。。</p>
事務局	<p>暑い時期ですけど、何時から何時だった？</p> <p>一応10時から2時ぐらいにということで。</p>
委員	<p>一番暑い時期ですね。あの辺りは、結構午前中は、土曜日から習い事に行ってる子たちが、終わって帰る時間で、あそこでお昼ご飯とか食べて通る時間ではあるらしい。お母さんも立ち止まっておしゃべりをしているのも結構見る。</p> <p>なんか冷たいミストを出すとかがあったら、それだけで人が集まりそうだなね。</p>

<p>事務局 部会長</p> <p>事務局 部会長</p>	<p>時間など、また決まったら委員の方にもお知らせしていただくということで、 よろしく願います。 他に意見等ないか。 次回の開催は10月を予定している。 10月ですね。多職種連携についてまた詰めないといけない。 その周知も、事業所の方でまた願います。 一般市民向けのフォーラムは9月22日に開催するので、チラシ等でご周知 いただきたい。 よろしいですかね。では、長時間にわたりましてどうも皆様ご協力ありがとう ございました。ではこれをもちまして、第1回の認知症部会は終了させていた だきたいと思う。ご苦労さまでございました。ありがとうございました。</p> <p>5 閉会</p>
---------------------------------------	--